



令和5年(2023年)

10月15日

中央区だより

にぎわう都心、豊かな自然、
みなとまち文化が織りなす
活気あふれる拠点のまち

第397号

区の人口 (住民基本台帳による)

人口	172,483人	(-56)
男	81,746人	(-35)
女	90,737人	(-21)
世帯	89,442世帯	(-3)

※令和5年9月末現在の住民基本台帳による。()内は前月末比

中央区役所だより 発行:新潟市 中央区役所 地域課 〒951-8553 新潟市中央区西堀通6番町866番地 電話:025-223-7035

認知症になっても安心できる暮らしを

はいかい模擬訓練



高齢化が進むなか、2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると予測されています。区では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしつづけられるよう、地域活動を後押しする認知症地域支えあい推進事業に取り組んでいます。地域とチームオレンジInしもまちが実施したはいかい模擬訓練を取り上げます。

健康福祉課高齢介護担当(☎223-7216)

はいかい模擬訓練とは

認知症の研究が進むにつれて、加齢などにより誰もが認知症という状態になり得ると言われています。また、徘徊行動は用事もないのに歩き回る困った行動ではなく、当事者なりの理由があることが分かってきました。この訓練は、もし、自分の住む地域でこのような行動を目にしたとき、どのように接したらよいかを体験し学ぶためのものです。

今回ははいかい模擬訓練を企画したのは、チームオレンジInしもまち。区内でも特に高齢化率が高いしもまち地域で、2021年に結成されました。チームオレンジは、地域ごとに認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族に対する生活面の早期からの支援などを行う団体で、認知症の人にもメンバーとして参加することを目指しています。区自治協議会の未来への種まきプロジェクトがこの活動を後押し、多くの人々が訓練を体験。今年から入舟コミュニティ協議会に加入し、より地域での支えあいの活動に取り組みます。



▲認知症の高齢者役(写真左側)に声をかける様子

◀チームオレンジInしもまち。代表の須貝さん(写真右端)や認知症地域支援コーディネーターの井上さん(写真中央)をはじめとする創設メンバー

話し方を見直すきっかけに



初めて訓練に参加した荏原敦さんは、認知症により幻覚が見えている役の人に声を掛け「話を否定して相手が驚かないように状況を踏まえながら、警察に連絡するところまで話を進めました。訓練前にあった専門職の人からのアドバイスを生かすことができ、良い経験になりました。日々の会話から相手を否定しない話し方をしていきたいです」と話しました。

地域とのつながりが大切

9月30日に実施した訓練では、接し方に慣れてもらうことに加えて、一見徘徊にあたるのか判断に迷うケースを盛り込み、参加者に対応を考えてもらいました。

認知症地域支援コーディネーターの井上さんは、「訓練を1日だけのイベントに終わらせるのではなく、これをきっかけに地域で困った人がいた時に対応できるようになることが大切です。誰もが、自分事として考えられるようになればと思います」と話し、地域の人と共に活動を続けていく意欲を見せていました。

認知症とは

教えてくれたのは、みどり病院 川井さん

特別な病気ではなく誰でも起こりうる状態です。当事者が生活に困っている場合があります。例えば、時間や場所などがあやふやになったり、具体的な過去の出来事(思い出)がそっくり記憶から抜け落ちて会話についていけなくなったりします。また、認知症の状態の人は外出した理由を忘れてしまうほか、明るさやおいなどの環境、周囲の人の雰囲気などに対する不快感から居心地よい場所へ移ろうとして、さまよってしまうことがあります。

周囲の人の様子が気になり声を掛けるとき、自分が迷子になって困ったら、どう声掛けをしてもらいたいか考えてみると良いでしょう。



市では認知症のことなどをまとめた認知症安心ガイドブック=右下=を配布しています。

また、区ではチームオレンジInしもまちとともに地域の活動を支援し、区内外の地域で同様の活動ができるようにはいはいかい模擬訓練マニュアルを作成し、公表しています。地域でこの活動に取り組みたいときは、まず健康福祉課高齢介護担当まで問い合わせてください。



連載⑫

よみがえる砂浜

日和山浜魅力創出事業 ～ハマベリング!!!～

日和山浜は、侵食の影響で砂が減少していたところに、侵食対策として整備を行い、現在の海岸が形成されています。これまでの経緯について、整備を担当していた国土交通省北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所の宮坂さんに聞きました。



大正8年当時の新潟港海岸

Q1. どうして砂浜が減少してきたの？

A1. 日和山浜の砂浜は、信濃川から運ばれる土砂により作られてきました。しかし、河川や港湾の改修工事などにより、川から運ばれる土砂の量が減少したほか、地下水のくみ上げによる地盤沈下の影響で、海岸線の侵食がはじまったと考えられ、明治後期から昭和に至るまでに砂浜が最大350mも後退しました。=写真左=

Q2. 砂浜をよみがえらせるために、どんな工事を行ってきたの？

A2. 当時の侵食対策工事といえば、コンクリートの高い壁(直立堤)を立てて、砂の流出を防ぐ線状防護工法と呼ばれるものが主流でした。しかしそれでは美しい新潟の海の景観が損なわれてしまいます。海岸線を守るとともに、人々にとって快適で潤いのある海岸の利用が可能となるよう、離岸堤(潜堤)、突堤、護岸(養浜)を総合的に組み合わせた面的防護工法による整備を行いました。事業開始当時、この工法は全国的にも実例が少なく、水理模型実験や現地観測を行いながら、試行錯誤を重ねて整備を行いました。この事業で得られた知見は、今日の海岸工学の基礎となっています。

Q3. 日和山浜の特徴である突堤はなぜあの形なの？

A3. 突堤は波の力で漂っている砂が沖へ逃げ出さないように留める重要な役割があります。各地にさまざまな形の突堤がありますが、その役割は一緒です。日和山浜の突堤の形=写真上=は、整備が終わった後、魚釣りや散策など、海を身近に楽しんでもらいたいと考え、今のデザインになりました。



整備は令和4年度に完了しましたので、今後は是非皆さんの憩いの場として日和山浜を活用してもらいたいと思います。ハマベリング!!!や海岸でのさまざまなイベントを通じて地域の活性化が図られることを期待しています。

今後の取り組みの進捗は、区ホームページ=右の二次元コード=から確認できます。



次回、学生が感じたまちの魅力を取り上げます。

本誌掲載のイベントは10月6日時点のものです。

文化の日は観覧料が無料！ 秋は文化施設へ行こう！

市では、文化の日である11月3日(金・祝)を文化施設の無料観覧日としています。施設を巡ってさまざまな建築や庭園、アートなどを体感できる絶好の機会です。無料観覧についての詳細は、今号市報にいがた本冊も確認してください。

■みなとまち新潟の芸と風土 発掘・体験プロジェクト

「地域全体がそのままミュージアム」を目指し、旭町・西大畑町周辺の文化施設が連携したプロジェクト。江戸時代以来、この地域で守り伝えられてきた屏風や掛け軸、工芸品などが、各施設で展示されます。今号市報にいがた「別冊情報ひろば」も確認してください。



回 10月25日(水)～11月26日(日)

場 新潟大学旭町学術資料展示館(旭町通)、砂丘館、旧齋藤家別邸、ほか
問 文化政策課(☎226-2624)

■旧齋藤家別邸 秋の庭園ライトアップ

旧齋藤家別邸では、紅葉が見ごろを迎える庭園をライトアップします。ぜひ秋ならではの趣ある景色を堪能しに来てください。

回 11月10日(金)～12日(日)、11月17日(金)～19日(日)

全日午後5時30分～7時30分

内 庭園のライトアップ

※ライトアップ中は庭園散策不可
¥200円 ※別途観覧料(一般300円、小・中学生100円。土・日曜は小・中学生無料)が必要



秋のしもまちは キラキラ ワクワク フレッシュ本町 HAPPY HALLOWEEN

ハロウィン直前の日曜日に、子どもから大人まで楽しめるハロウィンイベントを開催します。食べて、遊んで、本町で一日過ごしませんか。
回 10月29日(日)午前10時～午後4時
場 フレッシュ本町(本町12・13番町)
問 下本町商店会(☎222-6488)



こども縁日

黒板おえかきやカレンダー作成、スーパーボールすくいなど

飲食ブース

キッチンカーや露店が出店！

ガラポン抽選会

仮装している人はガラポンができる！おいしい景品がたくさん。

家族みんなで楽しんで 下本町商店会 齋藤 恒利会長

フレッシュ本町の秋の恒例行事になってもらいたいと思い、初めてハロウィンイベントを開催します。当日は商店街のお店に隠れているクロネコを探し出すとお菓子がもらえる企画も実施します。家族みんなで楽しみながら商店街を歩いて探してみてくださいね。



しもまち早川堀通り☆キャンドルナイト

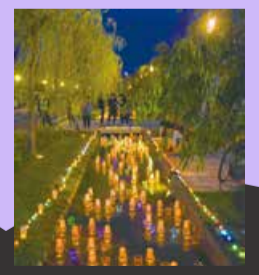
キャンドルで幻想的に彩られる早川堀。みなとまちの歴史を感じながら、散策してみませんか。

回 11月3日(金・祝)午後4時～8時

場 みなとびあおよび早川堀通り

内 万代太鼓などの演奏や地元アーティストによるフォークソングステージ、飲食ブースなど

問 しもまち早川堀通り☆キャンドルナイト実行委員会・高橋(☎090-8649-5000)



《広告欄》



